

会議録

会議の名称	西東京市公民館運営審議会平成18年度第10回定例会
開催日時	平成19年1月17日（水曜日） 18時30分から20時45分まで
開催場所	田無公民館 第2学習室
出席者	<p>会長：森忠 副会長：濱崎昌子 委員：細井邦夫、浅倉隆壽、下栗庸隆、富澤佳代子、野間春二、武田雅子、石橋いづみ、紺野和子、遠山久敬 職員：相原館長、近藤事業係長、伊佐分館長、山本分館長、玉木分館長、香坂分館長、小林分館長</p>
欠席者	柳澤英之、伊波真貴子
議題	<p>(1) 第9回定例会の記録について (2) 報告事項 1. 行政報告 2. 事業計画・報告書について 3. 公民館だより編集室報告 (3) 協議事項 1. 諮問事項について 2. 起草委員の選任 (4) 事務連絡および情報交換 (5) 次回の日程について</p>
会議資料の名称	<p>(1) 事業計画書 1. 仏像鑑賞入門・仏像の魅力（谷戸） 2. いまさら聞けないインターネット回線あれこれ（住吉） 3. 春を呼ぶコンサート 沖縄の風に吹かれて（ひばり） ※19年度事業 4. 囲碁講座「初級入門コース」（芝久保） (2) 事業報告書 1. 西東京の歴史を歩く 爽秋編（保谷） 2. 迎春のアレンジメント プリザーブドフラワー（保谷） 3. ボランティア講座（高齢者編）みんな笑顔で（田無） 4. 健康講座「ヨガ&ウォーキング体験」（芝久保） 5. やきものの魅力（谷戸） 6. 裁判員制度ってなあに 東京地裁の傍聴（住吉） 7. 子供いろいろ体験教室「デコレーションケーキを作ろう」（住吉） 8. 乳幼児を育てているお母さんの講座（ひばり）</p>
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	

(1) 第9回定例会の記録について

※記録について確認

(2) 報告事項

1. 行政報告

○館長：

1月8日に成人式が執り行われた。2,209人の対象者に対して、1,125人の新成人が出席した。出席率50.9パーセントだ。式典での大きなトラブルは発生していない。

以前にも報告のとおり、公民館職員のマイカー通勤に関して懲戒処分を受けた者がいる。本日の読売新聞に、改めてそのことが報道されたので報告する。全職員に対し、一層の綱紀の粛清について指示したところであるが、再度六館会議でも確認したい。

2. 事業計画・報告書について

○会長：

事業計画書について意見を聞く。

○職員：

冒頭配付資料の訂正をお願いしたい。いずれも事業計画、芝久保公の囲碁講座の講師名の「神部」は「神戸」の誤植、ひばり公のコンサートの申込み受付開始日「3月5日」は「3月2日」の誤りである。

○委員：

田無公のボランティア講座の参加者が少ない。評価欄の職員の分析に書かれているような理由ではなく、単純にタイトルのボランティア講座とゲーム作りという内容が結びつかないのが、参加者を得られない原因ではないのかと感じる。なぜボランティア講座でゲーム作りをするのかがわからないのだと私は思う。

芝久保の囲碁講座だが、囲碁は大変奥深く難しいものだが、初心者の人についていける内容なのか、どのような工夫があるのか聞きたい。

住吉公のケーキ作りだが、評価欄にも衛生管理についての記載があるが、この時期特に注意してほしい。

○職員：

レクレーションを通じてボランティア活動を理解するという事業の意図が伝わらなかったようだ。障害者や高齢者が、レク活動を通じて刺激を受けることが大切で、もっとそのことを前面に出すべきだったのかもしれない。講座の名称、対象を青少年に限らず、広くすることなど幅広い市民に向けたレクレーション創作講座にした方が良いと考えている。

○職員：

初めて碁をする方を対象であることは、講師も理解している。ごく簡単なところからスタートするというところで打ち合わせをしたところだ。

○職員：

今回は、衛生管理に時間をかけ過ぎて、終了時間をオーバーしたということを知っている。しかし、安全を優先していきたい。

○委員：

先日の東興通信に谷戸公民館の哲学講座の記事が出ていた。どういう方法で掲載依頼をしたのかということを知りたい。全職員が共有すれば、PRの手段がふえると思う。

○職員：

公民館が掲載依頼した訳でなく、先方の取材によるものだ。企画に難しい点もあったが、今回の掲載によって他市からの問い合わせも受けた。お陰で、哲学講座にしては盛況になった。

○委員：

先ほど話題になった、参加者が少ないという点も解消できるのであれば、掲載に向けて努力してはどうなのか。

○職員：

谷戸まつりについては掲載依頼をしている。他の事業も必要に応じてお願いすることもあるが、あくまで先方の紙面の都合もあり、毎回の事業の1つ1つの情報を提供することはしていない。

3. 公民館だより編集室報告

○委員：

1月号の反省。懸案の印刷色については、各館で市民に意見を聞くということになった。市民の投稿記事の電話番号を掲載ミスが発見された。確認を怠ったのが原因ということだ。該当の市民には、お詫びをして了解を得ている。

来年度以降の公運審委員の投稿記事だが、現在の「つぶやき」を改定したい。具体的には、各委員が毎月の主催講座に参加して感想文を書くという企画を立てたいが、いかがか。

○委員：

委員が参加してということだけでなく、編集室が参加者からの声を取材して書くという方法にしてはどうかと思う。

○委員：

「つぶやき」のあとの企画であり、やはり委員が交代で書くという趣旨は変えない方がいいと考えている。

○職員：

編集室としては、「つぶやき」は漠然としていて書きづらい、という意見を受けての提案である。自身が参加者として加わった事業の感想であれば、はっきりとした意見が書けるのではないか。

○委員：
記事の量にもよると思うが、少ないと、割りに難しい。また、希望する講座に参加者としてカウントしてくれるのか。

○職員：
もちろん、そのつもりだ。

○委員：
4月からの企画だとすると、「つぶやき」はまだすべての委員が書いていない。任期のこともあるが、全員が書いてから次のシリーズをスタートしてはどうなのか。

○職員：
故奥田委員の言葉をご記憶と思う。委員に、公民館に関する記事の執筆を依頼したときに「もっと編集室側の意図をきちんと伝えてもらわないと記事は書けませんよ」ということをこの席で発言された。ただ今は、現在こういったシリーズを考えているという報告であつと思う。この編集室報告は、編集会議で決まった方針などを各位に伝達する場であり、編集室の方針を議論する場ではないと思う。会議のすみ分けをした方がいいのではないかと思うが。

○委員：
編集室報告を継続する。昨年も行つた「ミニコミ編集講座」は、来年度も行いたいと思う。ただし、委員の改選もあるので、6月スタートで準備を進めたいと思う。
次に、公民館だよりの全国コンクールに応募することを報告したい。

○会長：
そのコンクールとは。

○職員：
今年が第1回のコンクールで、全国公民館連合会が主催のものと聞いている。行事のお知らせが主体の公民館だよりの多い中で、毎号きちんと「取材に基づいた」記事で1面を飾っているものはそう多くなく、全国的にも遜色はないものと考えている。期待できるのではないか。

○委員：
今回の2面の、三多摩テーゼを解説した記事は大変良かったと評価したい。

○会長：
他に質疑はないか。

(3) 協議事項

1. 諮問事項について

○会長：
グループ討議のために暫時休憩する。各グループは、起草委員の候補者も議論してき

て欲しい。

(19時10分休憩)

(19時35分再開)

○副会長：

再開する。

グループの座長・記録者をお願いする。本日までのグループ討議の内容を2月16日頃までに事務局に提出して欲しい。来月の配付資料の中に、そのコピーを入れるので、拝読してきて欲しい。来月は、グループ間の意見調整の場としたい。

2. 起草委員の選任

○副会長：

起草委員は4人としたい。各グループから2人ずつ選出し、正副会長はオブザーバー参加としたい。

座長の報告を受けたい。

○A座長：

下栗委員、武田委員としたい。

○B座長：

野間委員、富澤委員としたい。

○副会長：

ただ今の報告のとおり、起草委員を選任したいがいかがか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

では、よろしく願います。起草委員は、2月定例会以降、具体的な活動をスタートして欲しい。

(4) 事務連絡および情報交換

○職員：

1月27日の委員部会研修会と、2月15日の都公連・委員対象研修会の出欠を後ほど確認したい。

(5) 次回の日程について

2月21日(水曜日) 18時30分

於：田無公民館 第2学習室